

協会職員の長時間労働への対策

2025年2月5日

2025年日本国際博覧会協会
持続可能性部局 人権・調達チーム



■ 長時間労働抑制

(1) 時間管理の意識向上

2024年11月より、協会全体の時間管理の意識向上を図るため、各フロアにチャイム付きの掛け時計を設置しました。

(2) 時差勤務実施要領の改定

2024年11月に、勤務時間を30分単位で繰り上げ・繰り下げできる規定に改定し、業務に応じた柔軟な時間設定を可能にすることで、時間外労働の削減を目指しています。

■ 職員の安全と健康管理

(1) 健康チェックの強化

2024年12月より、長時間労働者の健康チェック基準を引き下げることでより多くの対象者に対して細やかな対応が出来るようにしました。

(2) 産業医面談実施

健康相談窓口を設置しており、産業医との連携強化と、ストレスチェックによる高ストレス者に対して産業医面談を実施しています。



■ 協会組織運営

(1) 組織体制の見直し

万博会期中の業務を円滑に実施するために組織体制の見直しを行いました。
従来のピラミッド型（局・部・課を配置）の組織体制から、会場運営に適した局を単位としたフラットな組織体制とすることで意思決定の迅速化を図りました。

(2) 協会職員の増員

2025年1月1日時点で、協会職員数は**842**名となり、職員の増員を行いました。

(3) 業務量の適正化

担当業務の見直しを行い、業務量の適正化を図っています。

